

・定例総会

平成22年4月25日(日)午前11時よりホテルアソシア9Fエスペランスに三十数名の同窓生が集い、山内茂弘学校長はじめ、中尾清同窓会会長、吉元庸之東京支部長、浦上武朝部長、正門邦子部長にご出席戴き「第3回東海支部定例総会」が開催されました。

総会では平成21年度の活動報告、会計報告ならびに平成22年の活動計画と予算案が承認されました。

尚、今年度も昨年度ご承認戴いた役員の方々が東海支部の活動を支えてまいります。来年度は東海支部役員改選の年(任期2年)となります。よって同窓会運営の意義をご理解戴き支部活動にご協力戴ける方の応募をお待ちしております。



・懇親会



総会に引き続き、6回生の中野利昭さんの乾杯の音頭で懇親会がスタート致しました。

中野さんには、昨年と同様神戸や東京に在住の6回生と8回生の仲良しグループで参加戴きました。また、愛知、岐阜、三重の東海三県からの出席者が多く、遠くは富山県から出席戴きました。

今回はちょっと趣向を凝らし、

ジャズ、ポップス、オリジナル曲で名古屋のライブハウスやレストランなどを中心に活動中の男女二人のセミプロのバンド「tiny garden」に演奏をお願い致しました。



懐メロをBGMに飲んだり、食べたり、話したり……。

懇親会まずは食事から、バイキング形式なので皆さん一齐に好みの食べ物を確保。同窓生の年齢の合わせ、和食と洋食を用意したのですが、和食(寿司)から先に完売となりました。

こちらのテーブルでは「高校卒業以来の同級生に逢えました。東海地区で48年も経って会えるってすごいことですね。親しい

方ではないのですが、共通の知り合いの話題で盛り上がり楽しい時間……。」と束の間の青春を味わっておられました。「総会に出ても知ってる方が誰も出席されていなかったら……。」と出席を躊躇されている方、そこは同じ高校で学んだ仲、恩師やクラブでの思い出、はたまた出身の小中学校、通学路など等、話題は沢山楽しいひと時が待っていますよ。

またこちらのテーブルでは、演奏を終えた「tiny garden」の二人を交えての談笑、名古屋市民管弦楽団で活躍中の同窓生が同席されていることがわかりました。色々



音楽の話をする中、5月の定期演奏会のチケットを戴き、数組の夫婦が音楽鑑賞に行くことに。後日「アマチュアとは思えない素晴らしい演奏で、先輩がこのような活動をされているのを嬉しく思いました。また、この定期演奏会には同窓会の方々もご家族と伴われて多く来られており、アットホームな東海支部の雰囲気が感じられました。」との報告が届きました。



総会2週間前に引越した幹事さん、神戸からの参加と成りました。「過去一度参加の知人二人は、日程の都合がつかなかったりその他の理由で欠

席で残念でしたが、顔見知りの皆さんとお会い出来、またアフター総会で弾け、楽しく帰路に着きました。今後は老若男女？一緒に何処か楽しい場所に総会后繰り出し、思い出作りができれば嬉しく思います。」とのこと。来年度の総会の企画に採り入れたいと考えております。



楽しい時間は早く過ぎるもの、総会もお開きの時間となりましたが、ここで木崎支部長からミニ名古屋観光ツアーのご案内。総会の余韻をそのままに名古屋観光ツアー、カラオケ大会、お酒や食事などに皆さん名古屋の町へ……。

中野さんたち6回生と8回生の仲良しグループと18回生二人は、木崎支部長のガイドのもと名古屋駅からバスに乗って「産業技術記念館」へ。豊田自動織機からトヨタ自動車までの歴史の勉強？総会をそのまま記念館へ、和気藹々でまたまた楽しい時間を満喫5時半頃にはもとの名古屋駅に戻って来ました。



一方カラオケ愛好のみなさん、時間を忘れてカラオケ三昧。「高校時代は顔を合わせたこともなくましてや話したこともなかった人と50歳を過ぎてから飲み友達となりカラオケで「六甲おろし」を歌う。こんな楽しいことが起こるのですね。同窓会に感謝です。」とのことでした。

・定例総会を終えて

総会のたびに感謝するのは、遠路参加して下さる方々が多いことである。この支部会員の中でも、遠い富山や支部以外の東京、神戸、大阪などからはるばる参加いただく方々。東海支部の幹事を務めて戴いた雲田さん(25回生)のように、小牧市から神戸へ転居しても幹事の籍を置き、総会には参加して下さる人もいる。こんな方々のおかげで、東海支部が支えられていると、つくづく思う。「有朋自遠方来、不亦楽乎」(木崎支部長記)





兵庫県立星陵高等学校 同窓会東海支部 第3会定例総会 2010年4月25日 於ホテルアソシア名古屋ターミナル

・**総会出席者**（敬称略、カッコ内旧姓）

今総会出席者

3回生：立花正臣、6回生：廣戸恒雄、木崎 晃、岩井宣子（石井）中野利昭、多秀子（鶴崎）藤本 弘、山崎節男、伊川裕康、8回生：荒井登志子（堅田）、10回生：鈴木美智子（谷崎）、11回生：古田文男、渡辺紀子（沖合）、18回生：覺田信一、中西 敏、19回生：有賀純一、21回生：松下 仁、水越明美（近藤）長谷川祥子（青木）、中藤茂徳、24回生：大下哲史、羽藤真理子（荒井）、25回生：小林亮介、小林明子（渡辺）浦上武朝、雲田厚子（村田）山口敏栄（山北）26回生：水谷博輝、石川智嘉子（石川祥子）、31回生：近藤高仁

過去総会出席者

2回生：生島 亘、4回生：藤井五郎、山田満弥、6回生：中嶋 昌、下土井康晴、酒井かづえ（佐橋）伊藤栄子（森岡）8回生：辻村伊佐武、三輪 榮、吉川幸子（高原）甘玉美子（立花）9回生：菱田 勝、10回生：長屋幸子（松尾）金子鴉子（森岡）11回生：河原幸子（末石）小西英資、14回生：安部信恵（辻）15回生：小野光子（中川）16回生：河野俊昭、16回生：星野四郎、17回生：森本博昭、18回生：湯浅芳子（霜竹）菅野 泉（熊谷）19回生：大石元一、大黒 治、松田美知子（遠藤）堀江正明、福田彰信、田原 正、20回生：村田一美、築瀬研三、24回生：新井節子（山口）25回生：伊藤洋子（大石）28回生：藤原久史、稲本カオル（岡崎）29回生：山内郁男、31回生：宇野誠一、時崎隆志、33回生：今北浩義、樋口美世子（大野）

・**第4回定例総会のご案内**

東海支部第4回定例総会を下記のとおり開催致しますので
ご多用中のところ、まことに恐縮ではございますが万障お繰り
合わせのうえご出席賜ります様ご案内申し上げます。

日時 平成23年4月24日（日）

午前11時から午後2時

会場 名鉄ニューグランドホテル7F

太閤通口（西口）からお越し下さい。

新幹線口より徒歩1分。

（ビックカメラ店に向かって左の歩道側にホテルの入口があります。）

平成23年度に母校は創立70年をむかえます。

神戸の定例総会にも是非ご参加下さい。



・ミニ観光ツアー

来年度第4回定例総会では総会終了後、名古屋市内ミニ観光ツアーを企画しております。
名古屋駅を午後2時過ぎに出発し、以下の観光スポット4ヶ所の内1ヶ所をゆつくりと楽しんだ後、午後5時頃にまた名古屋駅に戻ります。時間に余裕のある方は是非参加下さい。

名古屋駅

名古屋市内の人気観光スポットを周遊するには、「なごや観光ルートバス」のメーグルがとても便利。ゴールドの車体のオリジナルバス、車内で観光スポットの映像やボランティアガイド(随時)の説明も！。

名古屋駅のり場：バスターミナル2階レモンホーム0番のり場
土・日・休日／20～30分に1本運行

産業技術記念館



トヨタグループ創業者、豊田佐吉が1911年に設立した旧・豊田自動織布工場の建物を産業遺産として保存・公開するとともに、トヨタグループが携わってきた繊維機械と自動車をとおして日本の産業技術の変遷を紹介するため、トヨタ自動車創業者豊田喜一郎の生誕100年を記念して1994年6月11日に設立されました。
繊維機械館 「糸を紡ぐ、布を織る技術」の移り変わりを紹介する。
自動車館 「自動車のしくみと、開発・生産技術」の移り変わりを紹介する。

ノリタケの森



株式会社ノリタケカンパニーリミテドは創業100周年の記念事業として、2001年(平成13年)10月5日、近代陶業発祥の地であるノリタケ本社敷地内に陶磁器に関する複合施設「ノリタケの森」をオープンしました。
この森は、名古屋市中心部の約48,000㎡という広大な敷地に、文化と出会う「カルチャーゾーン」、暮らしを楽しむ「コマースゾーン」、歴史を感じる「ヒストリカルゾーン」という3つゾーンを配し、豊かな緑が全体を包みこんでいます。

名古屋城



名古屋城は、慶長14年(1609年)、関が原の合戦後に江戸幕府を開いた徳川家康が、東海道の要所として、また、大坂方面(現在の大阪)への備えとして、加藤清正・福島正則・前田利光ら諸大名20名に建設を命じました。建設工事は慶長17年(1612)にほぼ完成しました。その後、明治維新を迎えるまで名古屋城は、御三家の筆頭尾張徳川家の居城として栄えました。

徳川園、美術館



名古屋城本丸の東約3kmの地にある徳川園は、徳川御3家筆頭の尾張藩第2代藩主光友が元禄8年(1695年)自らの隠居所として大曾根屋敷を造営したことを起源とする。当時の敷地は約13万坪で、庭園内の泉水には16挺立の舟を浮かべたといわれている。
徳川美術館は、尾張徳川家に伝えられた、いわゆる大名道具を展示公開している美術館で、昭和10年に開館しました。